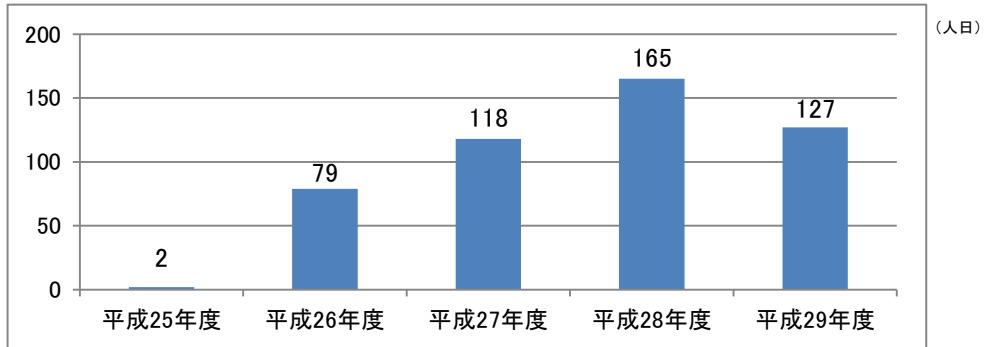


41 薬剤師の研修受入数(外部の医療機関などから)

○項目の解説

薬剤師も新しい医薬品や治療法などの知識習得と技術向上を、実際の臨床現場で学び続けることが必要です。薬剤師の現任教育及び再教育の体制が整っていることを表現する指標です。単に受け入れ人数ではなく、延べ人数(人数×日数)とし研修に対する貢献の程度を評価します。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

【現状】平成18年度から日本病院薬剤師会がん専門薬剤師研修事業を行ってきましたが、研修施設の増加、研修を修了した薬剤師数が充足したため、平成25年度までは徐々に研修生は減少しました。平成26年度より、院外調剤薬局の病薬連携研修生の受け入れ態勢を構築し、研修期間を延ばした研修も構築したため、平成26～28年にかけて研修実績は増加しました。平成29年度も前年度と同様な研修受入態勢を取っていましたが、前年度より受入人数は少なかったため、実績として減少しています。

【今後】薬剤部では、日本病院薬剤師会のがん専門薬剤師研修、日本薬剤師研修センター主催の薬剤師研修、院外調剤薬局薬剤師の1週～3ヶ月研修など種々の研修が受入可能となっています。研修生からの評価も高く、研修後は関連した領域において自施設で幅広く活躍しています。今後も充実した研修を提供していければと考えています。

○定義

当該年度1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。

外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。

○算式

人日(人数×日数)